

## 日本人間関係学会機関紙『人間関係学研究』査読規定

- 1 『人間関係学研究』への掲載を希望する者は、論文原稿3部（複写可）を機関紙編集委員会に送付する。
- 2 機関紙編集委員長は、投稿された論文を受け付けたとき、機関紙編集委員会と協議の上、遅滞なく査読者を選定する。査読者は原則として機関紙編集委員1名、編集委員以外で査読者として適当な者1名とする。
- 3 査読者は機関紙編集委員長の指定する期間（原則として査読すべき論文の送付を受けて1ヶ月程度）内に査読を終了し、結果を機関紙編集委員長に送付する。評語は「採択」・「修正採択（再査読不要）」・「修正採択（再査読要）」・「書き直し」とする。
- 4 ①査読者2名とも「採択」②査読者2名が「採択」及び「修正採択（再査読不要）」③査読者2名とも「修正採択（再査読不要）」の場合は、論文執筆者に完成原稿の提出を求め、これをそのまま掲載する。  
③査読者1名が「採択」又は「修正採択（再査読不要）」であるのに対し、別の査読者1名が「修正採択（再査読要）」又は「書き直し」である場合は、機関紙編集委員長と機関紙編集委員会と協議によって対応を決定する。  
④査読者2名とも「修正採択（再査読要）」又は「書き直し」の場合は、論文執筆者に対して査読結果を通知し、修正又は書き直しを求める。
- 5 査読回数の上限は設定しない。

## 日本人間関係学会査読体制（平成28年12月1日現在）

機関紙編集委員長	加藤	誠之（高知大学教育学部）
機関紙編集副委員長	濱島	淑恵
	藤田	毅（太平洋学園高等学校）
	伊藤	稔（東京理科大学）
	河合	高鋭（鶴見大学短期大学部）
	勅使河原	隆行（千葉商科大学）
機関紙編集委員	小山	望（埼玉学園大学）
	川村	幸夫（東京理科大学）

## 日本人間関係学会機関紙『人間関係学研究』発行体制

- 1 各年度（各年10月1日～翌年9月30日）毎に1巻を発行する。年度内の複数発行は号とする。ただし、掲載できる論文が多数ある場合は、2号を発行する場合もある。
- 2 原則として毎年度11月～12月を目途に発行する。毎年度3月末を投稿〆切とし、この〆切までに投稿された論文のうち、査読を終えたものを掲載する。査読が間に合わなかったものは、次以降の巻・号に掲載する。